

③【医療法人 徳洲会 野崎徳洲会病院】

住 所	〒574-0074 大阪府大東市谷川2-10-50		病床数：218床
診療科目	内科／外科／整形外科／脳神経センター／循環器内科／心臓血管外科／泌尿器科／婦人科／放射線科／小児科／神経内科／消化器内科／腎臓内科／皮膚科／総合診療科／リハビリテーション科／眼科／麻酔科／人工透析／救急科／呼吸器外科／歯科口腔外科		
研修責任者名	田村 雅一（病院長）	連絡先：072-874-1641	連絡先担当者名：上野 浩史
新臨床研修医指導実績	・野崎徳洲会病院臨床研修プログラム 平成23年度：3名、平成24年度：4名、平成25年度：3名、平成26年度：3名、平成27年度：3名、平成28年度：1名、平成29年度：2名、平成30年度：3名、令和元年度：3名、令和2年度：3名、令和3年度：2名、令和4年度：3名		
	研修受け入れ可能診療科	学会認定専門医数	学会認定指導医数
	必修：内科、外科、麻酔科、救急科 選択研修：整形外科、脳神経外科	内科5人、循環器内科1人、総合診療科1人、外科3人、乳腺外科1人、心臓血管外科1人、呼吸器外科1人、脳神経外科4人、整形外科1人、歯科口腔外科1人、救急科2人、泌尿器科2人、麻酔科1人、放射線科1人、小児科2人、病理診断科1人、人工透析科1人	内科1人、総合診療科1人、外科2人、乳腺外科1人、心臓血管外科1人、呼吸器外科1人、脳神経外科2人、歯科口腔外科1人、救急科1人、麻酔科1人、放射線科3人、病理診断科1人、消化器外科1人
施設の概説・特徴			
プライマリ・ケアを通じて地域医療を担っていることが特徴。日常よく目にするCommon Diseaseを主に扱うプライマリ・ケアを主体に、病院として地域とどうかかわることが良いのかを考え、医療に取り組んでいる。予防・一般診療から救急診療、そして在宅死まで、全員でかかわっている。また、内科・外科はもとより脳神経外や循環器内科、心臓血管外科をはじめとする診療科も充実し、放射線治療部門もそなえ医療圏における地域住民の期待を担っている。アットホームな雰囲気、医局内では、気軽に相談しやすい環境である。病院併設の基礎研究棟も多くの研究者が独自の研究に励んでいます。			
研修受け入れ可能診療科の説明			
○内科…内科臨床研修は、基本科目のひとつであり、初期研修において重要な科目である。日常診療で頻繁に遭遇する症例や病態を通じて、内科医としての基本的な臨床能力を身につけ、医師としての人格を養う期間とする。 ○外科…外科臨床研修は、基本科目のひとつであり、初期研修において重要な科目である。指導医のもと外来及び入院診療に参加し、手術に同席することを始めとした、日常診療で頻繁に遭遇する症例や病態を通じ、外科医としての基本的な臨床能力を身につけ、医師としての人格、態度を身につける期間とする。 ○整形外科…整形外科とは、骨・軟骨・筋・靭帯・神経などから構成される運動器の疾患・外傷を対象とし、その病態解明と治療を行う専門分野である。現在、健康増進習慣の広まりや社会高齢化などの構造変化に伴い、運動器はその維持のために最も重要な器官であり、世界規模で運動器疾患が最も注目されている分野の一つとなっている。整形外科研修では、整形外科医としての必要な知識・技術・態度を身につける期間とする。 ○脳神経外科…脳神経外科の対象疾患は脳血管障害、頭部外傷、脳腫瘍、機能的疾患、先天性疾患、脊椎脊髄疾患等多岐にわたり、これらの管理法や手術の適応・方法に関する知識は専門医だけでなく、一般医師も取得することが望ましい。脳神経外科研修は、指導医のもと外来及び入院診療に参加し、脳神経外科医として必要な知識・技術・態度を身につけ、救急患者に対する適切な判断や治療の要点を把握実施する能力を得る期間とする。 ○麻酔科…社会に貢献できる優秀な医師として全ての医師に求められる、麻酔科の基本的な診療に必要な知識、技術を習得する。研修医は、指導医のもと手術室での麻酔業務で適切な判断・手技を実施できるよう必要な知識・技術・態度を身につける期間とする。 ○救急科…救急診療研修は、基本科目のひとつであり、この研修の重要な科目である。初期救急を通じて、プライマリ・ケアの実践と救急患者の対応を学習する。地域の救急医療計画の中で、救急医療システムを理解し、すべての病態に対する初期診療能力を身に付ける。			
研修の概説と特徴			
当院は大阪東側（奈良より）の病院です。 病床218床で、定員数4名の中規模病院ではございますが、年間救急数も6000件程度と症例数も豊富な病院となっております。研修医4名と人数も多すぎない病院ですので、指導医の先生やスタッフとのコミュニケーションも多い研修となっております。 当院は、初期研修で最も大切なことは経験した症例から自分のテーマを見つけることだと考えています。野崎徳洲会病院ではそれに相応しい初期研修を目指しています。症例を掘り下げたカンファランスを行い研修医は毎週症例報告会を行っており、マニュアル本だけではなく学術論文を読んだり書いたりする時間も設けています。 このような病院は徳洲会の中でも当院だけです。そして近年の専攻医制度のこともあり、後期研修は大学等しっかりとした施設へご紹介させて頂いています。			
研修医の当直			
月4回～6回 17:30～8:30 指導医のサポートの下に当直を行う。			
処 遇			
身分：常勤研修医師／給与：1年次月額300,000円（別途時間外手当あり）年額400万円（賞与含む） 2年次月額320,000円（別途時間外手当あり） 年額448万円（賞与含む）／賞与：1年次2回（夏季・冬季） 2年次2回（夏季・冬季）／当直手当：なし／保険：社会保険、雇用保険、健康保険に加入。医師賠償保険に加入。その他団体加盟の各種保険利用が可能。／その他：扶養手当など 家賃半額支給（上限50,000円）			